



## CONTENTS

「青少年国際協力スタディツアー 2007」活動報告	2
新潟県中越沖地震ボランティアレポート	3
多文化共生の現場から「山梨青年海外協力隊協会事務局長 松本公夫さん」／ JICA 通信	4
Earthquake Volunteer Report / International Festa 2007	5
YIA info 「山梨県内の外国人登録者数」	6
Cooking @ Home キューバ料理「アボカドのオムレツ」 Information	7
YIA Event Calendar	8

7月16日に発生した新潟県中越沖地震、これによる負傷者は約2,000人、全壊した993棟を含む住宅被害の合計は39,000棟を越えました。11人の尊い命を失ったこの災害、7月22日から3日間のボランティア活動をご報告します。(詳細は本文3ページ)

No dia 16 de julho um forte terremoto atingiu a província de Niigata cujas vítimas contabilizam mais de 2000 pessoas, 993 casas destruídas afetando a vida de masi de 39.000 pessoas.

The Niigata Chuetsu Offshore Earthquake occurred on July 16th, 2007. The earthquake caused 11 died and about 2000 injured. There were over 39,000 houses damaged, among those 993 were totally destroyed. Please read our volunteer activity report on page 5.

# 青少年国際協カスタディツアー-2007

## 「タイランド」活動報告



今年度は、中学生5名、高校生9名、大学生6名の計20名の学生と引率5名という合計25名の大所帯でのスタディ・ツアーとなりました。



タイの学生たちと一緒に折り紙作り

今回インターンとして携わった大学生たちを中心に事前研修を2回、7月7日と28日に行い、第1回目の事前研修では、班での目標や役割などを振り返ったり、訪問先の下調べや講座という形でいろいろな人からお話を伺いました。2回目の研修では、異文化に自分の身を置くときに気をつけることや、ワークショップを通してコミュニケーションの取り方を学びました。



タイの音楽を教えてくれた日本語学校の生徒たち

しているということに、みんな驚いているようでした。午後は、ミラー財団というタイのNPOの事務所へ移動し、彼らが支援する山岳民族の歴史的背景や、彼らの抱える問題点についてお話を聞きました。山岳民族のために・・・と彼らの居住地を低地へ移動させる政策をとったタイ政府と、それによって変わっていく彼らの生活の現状を知り、お互いの話し合いなしに援助、協力というものはないということを強く実感しました。山岳民族の中には、まだタイの国籍を持たない人々が多くいること。国籍を取る手続きの難しさなど、短い時間の中にもたくさんの問題を知り圧倒されました。



初めて触れるデジカメに大興奮の小学生たち！

その後、少人数に分かれアカ族の村・アパー村にホームステイ。言葉が全く通じない環境の中でそれぞれ工夫し身振り手振りでコミュニケーションを取り楽しい時間を過ごしました。

### 8月15日(水)

朝4時半、にわたりの大合唱で起こされ1日が始まりました。村の子供たちの通う小学校で折り紙やバラバラ踊りなどをし、交流を深めました。バナナの葉に包まれたお弁当、とってもおいしかったです。



山岳民族「アカ族」のお母さんたち

### 8月16日(木)

朝、チョンブリ県に移動し、午前中、青年海外協力隊の活動現場であるシリントン職業訓練校を訪問しました。社会的弱者と呼ばれる幅広い年齢層の学生を抱えるその学校には、性同一性障害の学生もいました。みんな、技術を学ぼうと一生懸命になる姿が印象的でした。タイの学生からビーズ工芸を教えてもらい、日本の学生はミズヒキ工芸を教えて、言葉を超えたコミュニケーションの中で交流していきました。

午後は、青年海外協力隊・養護隊員の活動するチョンブリ聾学校を訪問しました。タイ語の手話を教えてもらいながら、小学校4年生とレクリエーション！ここでも言語を超えたコミュニケーションをとることで、参加学生が笑顔がキラキラ輝いていました。協力隊の方の、「自分の経験や資格を生かして、外国で働くことが夢だった！」という話を聞いて、自分の個性を生かしながら外国で働いてみたいという夢を持つ学生もいました。

### 8月17日(金)

午後、(社)シャンティ国際ボランティア会の事務所を訪問。彼らの支援するスラム街での活動の様子、スラムの抱える問題、国の方針などの話を聞きました。その後、グループに分かれスラム街を見学。犯罪の多発する場所、貧しい暮らしと悲しむ人々、というようなイメージを持っていた学生たちでしたが、実際に訪問し、笑顔で暮らす人々とあいさつを交わすことで、「スラム」の概念が分からなくなってしまったりしました。しかし、実際スラムの子供たちとふれあい、住んでいる場所は違っても同じ人間だということ、言葉が違ってもコミュニケーションが取れることを実感したと学生が話してくれました。



おそろいのJICATシャツで記念撮影。ミラー財団にて

今回、参加学生が日を追うごとに、目の輝きを増し、言葉の通じない環境の中でも自分たちで工夫しコミュニケーションを取る姿が印象的でした。また、「笑顔」の大切さに気づき、世界の現状を知り自分たちにできることはなんだろう？と考え、タイで感じたこと思ったことを多くの人に発表することだと話してくれました。今後、県内でのイベントなどで彼らみなさんに向けて感じたこと、タイの現状など発表していく機会をもうけていきます。ぜひその時は、彼らの話に耳を傾けてあげてくださいね。

【報告 JICA 山梨デスク 松岡】



7月16日に発生した新潟県中越沖地震、これによる負傷者は約2,000人、全壊した993棟を含む住宅被害の合計は39,000棟を超えました。11人の尊い命を奪ったこの災害、7月22日から3日間のボランティア活動から、当時の柏崎市周辺の外国籍住民へのサポートについてご報告いたします。



### 7月22日出発

外国人被災者が避難している避難所が市内広範囲に渡り、その巡回等のために車を必要としているという連絡を現地から受け車で向かいました。松本駅にて(財)和歌山県国際交流協会の方と合流し、長岡市-柏崎市間の公共交通機関がストップしてしまっていたため、その後柏崎を一度通り過ぎて、長岡駅で浜松市職員の方2名と合流してから柏崎へ向かい、午後2時頃市内へ入りました。

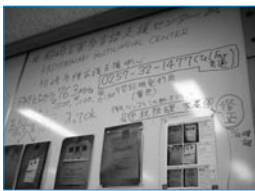
### 街並みの印象

乗り入れ規制があったためもあり、交通量はほとんどなく、警察や大きな自衛隊の車両が目に入り、戦場を想像させるやはり異様な光景でした。

一見すると海に近い静かな街、しかしよく見るといたるところに地震の爪あと。歩道はところどころ盛り上がり、敷き詰められたブロックはぼろぼろと崩れ、商店街のアーケードに並べられた、海の街らしくポートの形をしたフラワーポットはまるで波に乗っているかのようでした。

### 市民プラザ

市の生涯学習課などが入り、市民のための会議室などを貸し出している市民プラザ内に、柏崎市地域国際化協会があります。市民プラザは市の中心部に位置し、地震発生以来避難所となっていたため、建物前には仮設トイレが並び自衛隊の大きな給水車が常駐していました。ボランティアたちもここに寝泊まりしていたので、これらはとても助かりました。



### 柏崎災害多言語支援センターの活動

当時、被災された方で避難所にいる外国籍住民は少なくとも100人以上、中国、ロシア、フィリピンの方が多いとの情報でした。このような中、避難所を巡回してその状況を把握し、日本語のみで配信される災害情報を出来る限りの多言語で配信しようと、柏崎災害多言語支援センターは、地震発生の翌日17日に立ち上がりました。新潟県国際課、国際交流協会、長岡国際交流センター、多文化共生センターからのメンバーを中心とし、現場を指揮したのは、多文化共生センターの田村太郎氏と長岡市国際交流センター長の羽賀友信氏でした。

市内数十カ所に及ぶ避難所を2~3人のグループで巡回し、個人カルテや巡回カルテを作成していき、各避難所の状況を確認していききました。私が到着した22日午後には、すでにある程度の状況が把握できており、状況に応じて翻訳や必要物資が届けられる状態でしたので、それまでの数日に活動したの方々には混乱の中本当に大変だったと思います。



ただ、幸いに、柏崎市地域国際化協会において市内の外国籍住民との関係がよく取れており、その情報をもとに比較的スムーズに動けたようでした。普段からの活動がいかに地道なものかを実感します。

柏崎災害多言語支援センターには、愛知県国際交流協会、大阪国際交流セン

ター、京都市国際交流協会、船橋市、横須賀市国際交流協会、名古屋国際センター、仙台国際交流協会、徳島県国際交流協会などからも、次々に市職員や協会職員がボランティアに駆けつけ、それぞれ2~3泊程度交替で活動していました。

### すべての情報は「避難所」から

想像してみてください。

あまり言葉がわからない異国の地で、地震が起こり、避難所には逃げたけれど、変わり果てたアパートの部屋や自宅の様子が途方に暮れ、いつお風呂に入れるのか検討がつかない状況を。

避難所の壁に貼ってあるたくさんチラシに、何が書いてあるのかちっともわからず、近くの原因の状況に不安を抱きながら、これからどうしたらいいのか、一切わからない状況を。

柏崎災害多言語支援センターのボランティアは常にだいたい10人程度、IT班、巡回班、情報収集班などに分かれて活動していました。

市や県などからの最新の情報で必要と思われるものについて、随時県国際課や県国際交流協会を通じてボランティアに翻訳を依頼し、戻ってきたものを各避難所に巡回班が貼りに行く。そして、緊急情報については地域のFMピッカーで一日2回、多言語放送してもらう。時間短縮のため、メールで送られる多言語原稿は各言語ボランティアにより収録は電話でしに行われていました。

最新の情報はいつも避難所に貼られるため、り災証明の提出についてや、仮設住宅の情報などの情報も随時収集して翻訳、掲示する必要がありました。

### 今できること

例えば、今、山梨で、いつ起きても不思議ではないといわれる東海地震が発生し、県内各地の道路が寸断された状況に陥ったとしたら・・・

山梨県に在住する外国人登録者数は平成17年末現在で1万6千人以上、そのうち約5千人がブラジル籍、約3千人が中国籍、そして約2千5百人が韓国・朝鮮籍。

できることの一つとして、各市町村等により準備されている災害時の文書や案内、情報のフォームなどがあらかじめ多言語に翻訳されていたらどうだろうかと考えます。そして、避難所で作成される「避難者名簿」であらかじめ外国籍被災者の出身国や状況が把握できれば、重要な情報や緊急情報は迅速に住民に届け、現場の混乱も避けられるかもしれません。

山梨に住む住民の一人として、お互いの隣人を知る努力が、日本人住民側からも外国籍住民からももっと必要なのではないかと思います。

今、私たちがそれぞれの立場でできることは何なのか、もう一度考え直さなければならぬのかもしれない。

### 現在

柏崎災害多言語支援センターは現在、その役目を終え、業務は引き続き柏崎市地域国際化協会へと引き継がれています。柏崎市国際化協会の事務局長ご自身も被災者となりながらも、地震翌日から、避難所から市民プラザに通い、現在も協会の仕事を続けています。

### コンビニで・・・

市民プラザのある四つ角には既にコンビニが開いていました。このおかげで、ボランティアたちは毎回の食事がとても簡単にでき、とてもありがたかったです。

学生らしき夜間の店員が横浜から手伝いに来た方だった以外は、同じ女性店員にほぼ毎回お会いしました。「この街のためにありがと、でも、いい時もぜひ柏崎に来てね」と言われました。

美しい海岸もすぐ近く、通常の夏なら市内が観光客で賑わうこの時期、7月26日には皆んなが楽しみにしている恒例の花火大会が開催される予定だったそうです。

現実を見つめる日々のなか、きっとこの夏の長岡の花火に癒された人も多いだろうと思いつつ、一日も早い復興を願います。(文：坂上敬子)



- 災害時多言語情報作成ツール 自治体国際化協会  
<http://www.clair.or.jp/j/culture/disaster/sheet-4add.html>
- 柏崎災害多言語支援センター  
<http://www.kisnet.or.jp/~kokusai/tagengo/top.html>
- (財)柏崎市地域国際化協会  
<http://www.kisnet.or.jp/~kokusai/index.html>
- 柏崎市  
<http://emergency.city.kashiwazaki.niigata.jp/>
- 新潟県  
<http://www.pref.niigata.jp/>
- 日本赤十字社  
<http://www.jrc.or.jp/sanka/help/news/1247.html>

### アフリカの大地が 教えてくれたもの part2

(国際交流・国際協力、NGO活動に  
携わっている皆さんへアドバイス)

■山梨青年海外協力隊協会事務局長  
松本 公夫 090-1888-1385  
email nrh.04593@nifty.com



アフリカでの体験やJICAの活動を話す松本さん(八田小学校にて)

青年海外協力隊員(建設機械及び自動車整備指導)として6年間ケニアに派遣滞在していた松本さん。30年たった今も、アクティブに、効率的に活動を続けています。

今回は、国際交流・国際協力活動に携わっている、またこ

れから関わっていききたいと思っている皆さんへ松本流ピンポイント・アドバイスをいただきました。

#### 効率的なイベント企画・PR術

イベントは2ヶ月前に企画を心がけ、段取り等、どんな小さなことでも常にメモをしています。

ITフル活用は今や当たり前の時代。プラス「自分の足で稼ぐ」ことが私のモットーです。足で稼いで得た人脈200名以上にメール配信をすることでより効果的なPRができるのではないかと思います。

また、チラシを作成したら、県の施設、市民会館、コミュニティセンター、関連団体等を回り、担当者へ直接届ける時間を作ることも大切。「目」と「目」、

アイコンタクトの中から、新たな発見、つながりが生まれ、雑談の中から思わぬネットワークが生まれていきます。報道機関、関係団体へ後援申請を行い、ボランティアボード、タウン誌の活用も忘れずに。

#### 集客に悩んでいる NGO、国際交流・協力団体へ

根気よく、コツコツとPR活動を続けていくこと。

国際交流協会主催のさまざまなイベントに参加し、積極的に情報の収集・共有、PR活動を行うのもひとつの手段だと思えます。

#### NGO、国際交流・協力団体へアドバイス

私は、大学生等、若いパワーを積極的に活用しています。

漠然とした単なる「お手伝い」としてではなく、企画・運営を任せる「勇気」が大切だと思えます。時には「アドバイザー」に徹すること。

その際には、人種、年齢、上下の壁を取り払い、柔軟でいてほしい。現場、目的優先で、ポイントをきちんと明確にしておくことが大切です。

また、壁を作り、こもっているのはダメですよ。積極的にチャレンジ精神で外に出ていきましょう。JICA OB会で出前講座、海外体験還元で私も出張しています。お手伝いできることがあれば、気軽に声をかけてください。

#### 何かはじめたい人、どういう方向で進んでいけばいいの悩んでいる団体、個人の皆さんへ

まずは国際交流協会主催のさまざまなイベントに参加することををおすすめします。まずは体感し、人との出会いを大切にしてください。その他、NGO、国際交流・協力団体関連のセミナーやミーティングに参加、情報を収集し、共有していくことで、新たな自分を発見、それと同時に方向性も見えてくるのではないかと思います。(終)

# JICA通信

## 国際協力サポーター・ジュニアサポーター



今年度のJICA国際協力サポーター\*とJICAジュニア国際協力サポーター\*\*の紹介です。

(集合写真 左から

県立大学 准教授 吉田均さん\*

県立大学 2年 櫻川良子さん\*\*

県立大学 2年 望月勇祐さん\*\*

JICA 地球ひろば 仁田グループ長

県立大学 3年 田中美夏さん\*\*

県立大学 3年 塚田涼子さん\*\*)

国際協力サポーター、ジュニア国際協力サポーターとは、国際協力の必要性を多くの皆さんに理解していただくため、山梨県を中心に活動する方々です。

これからのサポーターたちの活躍にご期待ください!!

## JICA ボランティア募集中!! 募集期間 10月1日~11月9日

青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア、シニア海外ボランティア、日系社会シニア・ボランティアと4種類のボランティアを募集しています。

青年は20~39歳、シニアは40~69歳の方が対象です。

詳しくは、JICA ホームページ <http://www.jica.go.jp/> をご覧ください。

JICA ボランティアに関するご質問・ご相談は JICA 山梨デスク松岡までお気軽にどうぞ!

### 山梨県での募集説明会のご案内【OBの方の生の声が聞けます!】

10月8日(月)祝日 シニアボランティア説明会 10:30-

青年ボランティア説明会 14:00-

10月30日(火) 青年ボランティア説明会 18:00-

\*事前申し込みの必要はありません。ふるってご参加ください。

\*会場は、両日とも国際交流センター 大会議室です。

### JICA 山梨デスク 松岡

〒400-0035 山梨県甲府市飯田二丁目2-3 (財)山梨県国際交流協会

Tel. 055-228-5419 Fax. 055-228-5473 jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp



お客様の“満足”が、  
アド井上の主力商品です。

アド井上はヴァンフォーレ甲府を応援します!



印刷全般 ホームページ作製 データ作製・管理  
その他、“困ったこと”のお手伝い

## 株式会社 アド井上

〒409-3845 山梨県中央市流通団地3-4-5

TEL055-273-6141・FAX055-273-6144

URL <http://www.mdf.co.jp/inoue>

# NIIGATA OFFSHORE EARTHQUAKE

The Niigata Offshore Earthquake took place in the northwest Niigata region at 10:13 am on July 16<sup>th</sup> 2007. It was reported that of 11 people died and over 2000 were injured. The earthquake was felt as far away as Yamanashi prefecture. One of the International Centre staff member went to the disaster site as a volunteer to help the local foreigners. She described the situation as follows.



The patrol car that is used for taking foreigners to the evacuation areas picked us up when we arrived. It then took us around the city of Kashiwazaki which along with Kariwa village, both registered the highest seismic intensity of a strong six on the Japanese scale. The roads were split open, bridges collapsed, and houses destroyed. It was restricted to enter the city by vehicles, therefore, we only saw police and military cars on the streets.

There were over 100 foreign residents in the temporary shelter, most of them coming from China, Russia and the Philippines. In order to assist all of them, the government officials; local organisations and volunteers from around the country had formed the Kashiwazaki Multilingual Disaster Support Centre. When we arrived at the temporary shelter, essential information had been translated; resources and materials have been managed. Volunteers were allocated to each evacuation area to check

people's health condition and take down their personal information. All the volunteers were doing shift works to make sure all the foreigners were calm and felt relieved. Apart from that, we also translated the updated information so they could be put up on the notice board in each evacuation area.

I can imagine that the situation must have been hard for foreign residents because many of them do not know what to do in case the situation of an earthquake in Japan. Therefore it is important for all of us to be prepared, because a major earthquake or fire could strike at any time.

In Yamanashi, there are more than 16,000 registered foreign residents, among them over 6,000 are Brazilians, 3,000 are Chinese and about 2,500 are Koreans. In order to prevent panic, many government offices have made "Disaster Prevention Booklets" in many languages for foreign residents to read. It is also advised that to reserve some water at home, and make sure you have emergency items such as food supplies, medicine and a flashlight.

If you are interested to help the victims in Niigata prefecture, you can go to any Yamanashi bank and make a donation to the Japan Red Cross Niigata Branch.



## CELEBRATION OF YAMANASHI PREFECTURE DAY

Do you know when Yamanashi prefecture's birthday is?

The answer is the 20<sup>th</sup> of November. Like each of us, the prefectures in Japan also celebrate their birthdays. This year, everyone will be celebrating Yamanashi Prefecture's birthday on the 10<sup>th</sup> and 11<sup>th</sup> of November at the Kose Sports Park in Kofu.

This year, the International Centre is also taking part in the event. The "World Gourmet Corner" run by the local foreigners is sure to please your palate. Various performances and music concerts will give you a feast of sounds. Further, JICA (Japan International Cooperation Agency) and several international cooperation groups within the prefecture will exhibit their activities and achievements to the public.

The "World Gourmet Corner" and the exhibition of JICA will start at 10:30.

\*Time: 10:00 am ~ 3:00 pm  
Saturday and Sunday,  
November 10<sup>th</sup> and 11<sup>th</sup>

\*Location : Kose Sports Park

\*Schedule :

*Saturday 10<sup>th</sup> of November:*

13:00~14:00 - All those who share a love for the music of Brazil are welcome to listen to the local Brazilian band - Dilema, who will be performing Samba and Pagode.

14:10~14:30 - Brazilian dance performed by students from Yamanashi Pitagoras school

*Sunday 11<sup>th</sup> of November:*

13:00~14:00 - Traditional African music performed by Ousmane Sankhon.

14:00~14:30 - The music from West Africa - Djembe will be performed by Donshaka, a local band formed by 5 passionate, Djembe lovers.



**knt!**  
近畿日本ツーリスト

カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし

甲 府 支 店

国土交通大臣登録旅行業第20号 / (社) 日本旅行業協会会員

〒400-0031 甲府市丸の内2-1-1

TEL 055 (228) 7311 FAX 055-222-8600

営業時間 月~金 09:15~17:30

休業日 土曜・日曜・祝日・年末年始

## New! 山梨県内の外国人登録者数

法務省入国管理局より、最新の「外国人登録者数」が発表となりました。

H18. 12月末現在

順位	国籍	登録者数	順位	国籍	登録者数
1	ブラジル	5,299	28	ニュージーランド	11
2	中国	3,463	29	エクアドル	2
3	韓国・朝鮮	2,598	30	アイルランド	10
4	フィリピン	1,969	31	イタリア	10
5	ペルー	1,108	32	スリナム	2
6	タイ	630	33	セネガル	9
7	インド	275	34	トルコ	9
8	米国	267	35	シンガポール	8
9	インドネシア	266	36	ラオス	8
10	ベトナム	121	37	チェコ	58
11	イラン	81	38	ナイジェリア	2
12	マレーシア	73	39	ポーランド	2
13	スリランカ	68	40	インド	8
14	英国	67	41	南アフリカ共和国	2
15	ポリア	64	42	モロッコ	2
16	カナダ	61	43	イスラエル	1
17	オーストラリア	55	44	エチオピア	1
18	ネパール	49	45	オーストリア	1
19	モンゴル	44	46	キューバ	1
20	パラグアイ	36	47	サウジアラビア	1
21	バングラデシュ	35	48	チュニジア	1
22	フランス	27	49	トリニダード・トバゴ	1
23	コロンビア	26	50	フィンランド	1
24	ロシア	23	51	ベルギー	1
25	アルゼンチン	21	52	ホンジュラス	1
26	パキスタン	19	53	ブルネイ	1
27	ドイツ	14	54	イラク	1
				無国籍	14
				合計	16,954

2007. 7. 30 法務省入局管理局統計

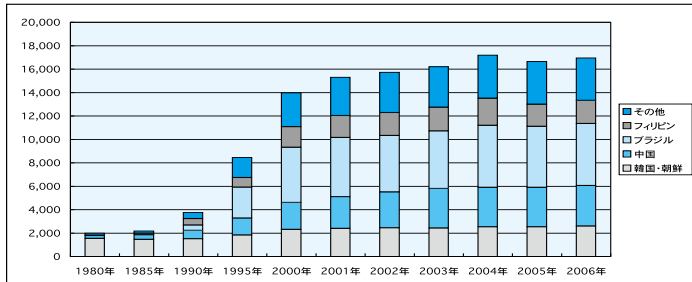
【市別外国人登録者数】

平成18年12月末現在

	総数	韓国・朝鮮	中国	ブラジル	フィリピン	ペルー	米国	その他
甲府市	5,666	1,503	1,571	858	456	285	80	913
富士吉田市	788	116	143	342	102	17	23	45
都留市	507	54	130	102	126	5	14	76
山梨市	210	28	46	27	47	11	10	41
大月市	176	21	30	30	44	1	5	45
韮崎市	676	52	171	237	78	93	6	39
南アルプス市	1,175	64	219	439	85	226	15	127
北杜市	636	54	59	169	178	14	20	142
甲斐市	1,399	277	293	437	121	37	16	218
笛吹市	961	142	182	124	248	121	20	124
上野原市	180	14	46	30	35	4	6	45
甲州市	170	42	46	5	40	2	11	24
中央市	2,190	37	165	1,548	87	173	5	175
計	9,068	901	1,530	3,490	1,191	704	151	1,101

【山梨県内の外国人登録者数の推移 1980-2006】

	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
韓国・朝鮮	1,557	1,469	1,517	1,845	2,320	2,400	2,443	2,442	2,529	2,540	2,598
中国	223	393	710	1,437	2,293	2,710	3,064	3,367	3,374	3,374	3,463
ブラジル	4	13	459	2,645	4,723	5,046	4,824	4,915	5,299	5,197	5,299
フィリピン	31	110	555	816	1,741	1,884	1,954	2,018	2,320	1,892	1,969
その他	179	197	524	1,721	2,898	3,263	3,443	3,470	3,671	3,636	3,625
総数	1,994	2,182	3,765	8,464	13,975	15,303	15,728	16,212	17,193	16,639	16,954



## クッキング@ホーム



ジョナサンは、国際交流員（アメリカ）として2005年に来日し、県企画部県民室国際課に勤務しています。

iHola! 9月より、スペイン語会話（初級）講座を担当しているジョナサン・スミスです。幼い頃はいつもキューバ生まれの母と祖母にキューバ料理の定番である「arroz con frijoles negros」（黒いんげん豆の煮込みを汁ごとではんにかける料理）をよく作ってもらっていました。

今回ご紹介するのは、簡単にサッと作れる「tortilla de aguacate」（アボカドのオムレツ）です。お好みのソースをかけてもいいし、トーストに挟んでもおいしいと思います。¡Buen provecho! どうぞ召し上がれ！

### アボカドのオムレツ (キューバの家庭料理)

#### 材 料 (約4~6人分)

- 卵・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6個
- 牛乳・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 大さじ3
- バター・・・・・・・・・・・・・・・・ 大さじ4
- アボカド・・・・・・・・・・・・・・ 1/2個
- 塩、こしょう（お好みで）



#### 作り方

- ボールに卵6個、牛乳を入れ、塩、こしょうをし、混ぜ合わせておく。
- フライパンを中火にかけ、バターを入れる。
- その中へ混ぜ合わせた卵を流し入れ、ほぼ回りが固まってきたところで、細の目にしたアボカドを卵の上に均等にちりばめる。
- オムレツの形に半分折り、反対の面も同様に焼いたらできあがり！

## 御見積依頼大歓迎!!

当社の見積を見れば絶対納得できます！  
まずは、お電話か、FAXで見積依頼を！

### 業務内容

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カード・DM  
各種伝票・パンフレット・ポスター・各種冊子類 etc.....

印刷に関することなら

有限会社 西山総合印刷所

〒400-0854 山梨県甲府市中小河原町165-8

TEL 055-241-4112

FAX 055-241-4112

## 書き損じハガキや未使用切手がネパールの栄養不良の子どもを救います！

(財)チャイルド・ファンド・ジャパンでは、栄養不良に苦しむネパールの子どもの栄養改善事業に取り組んでいます。ネパールでは、5歳未満児の半数以上が栄養不良という状況が感染症の繰り返しの悪循環につながり、乳幼児の高い死亡率の背景となっています。趣旨にご賛同いただき、ぜひ書き損じハガキ、未使用切手をお送りいただけますようお願いいたします。

- 送っていただきたいもの 書き損じハガキ、未使用のハガキ、切手
- 送付方法 ハガキや切手をまとめて封筒に入れ、チャイルド・ファンド・ジャパンまでお送りください。
- 送付先 〒167-0041 杉並区善福寺2-17-5 チャイルド・ファンドハガキネパール宛

問合せ NPO 法人チャイルド・ファンド・ジャパン募金グループ  
 東方 (トウボウ)、遠藤  
 Tel. 03-3399-8123 tobo@childfund.or.jp  
<http://www.childfund.or.jp/>

## 在日外国人の保健支援に役立つ

### 「外国人HIV陽性者療養支援セミナー」

在日外国人のHIV/AIDSの現状と課題を踏まえ、広く外国人の保健支援のための日本国内の社会資源や母国の医療事情に関する最新情報の共有、並びに医療相談の中で直面する事例検討などを通して、医療相談に関わる皆さまのケア・サポートの向上に役立てていただくための機会を設けました。医療従事者以外にも、NGO関係者並びに関心のある市民のご参加も大いに歓迎します。

- 日時 平成19年10月6日(土)午後1時～午後5時
- 会場 甲府市酒折2-4-5 山梨学院大学 クリスタルタワー6階 生涯学習センター講義室 (<http://www.ygu.ac.jp/campusmap/a00013.html>)
- 主催 財団法人 エイズ予防財団
- 後援: 山梨県・山梨県医師会・山梨県医療社会事業協会・山梨県精神保健福祉士協会・山梨県看護協会
- 内容 ◇情報交流与討論
  - 1) 「在日外国人 HIV 陽性者支援の基礎知識」  
 ～医療費や言語のハードルに役立つ制度や社会資源とは～  
 港町診療所 所長 沢田 貴志 (13:20～14:00)
  - 2) 国別状況報告「NGOによる在日外国人 HIV 陽性者支援 (ブラジル、タイ、フィリピン)」 (14:00～14:55)
 ◇「在日外国人と医療制度 --- 事例検討」(15:15～16:20)  
 ひまわり診療所 MSW 高山 俊雄

申込み/問合せ (特活)シェア=国際保健協力市民の会 (SHARE)「シェア セミナー係」Tel: 03-5807-7581 e-mail: hoken@share.or.jp まで。

## 「医療通訳ボランティア研修会」～外国人医療の現状～

在日外国人の増加に伴い、日本語での意思疎通が難しい外国籍住民が県内の医療機関で受診する機会が増えています。医療機関への将来的な派遣を視野に入れ、受診時に言語サポートをする医療通訳ボランティア人材の育成のため、求められる知識や心構えを学ぶ研修会を開催します。

- 日時 平成19年11月25日(土)午後1時半～午後5時
- 会場 国際交流センター
- 主催 山梨県、(財)山梨県国際交流協会
- 内容
  - ◇講演「ことばと医療の問題を解く3つの視点～能力・制度・活動」  
 午後1時30分～午後3時  
 特定非営利活動法人 多言語社会リソースかながわ  
 MIC かながわ プログラム・アドバイザー 西村明夫氏
  - ◇「外国籍住民医療の現場から 報告及び意見交換」  
 午後3時10分～午後5時
  - <報告者>
    - 山梨県立中央病院 総合相談センター医療福祉相談課  
 手塚満寿子氏
    - 山梨外国人権ネットワーク「オアシス」代表 山崎俊二氏
    - 外国籍住民
  - <意見交換>  
 ファシリテーター:  
 MIC かながわ プログラム・アドバイザー 西村明夫氏

問合せ (財)山梨県国際交流協会  
 Tel. 055-228-5419 webmaster@yia.or.jp

## 台湾「高雄市國楽団 日本公演」in 山梨

1989年に設立。南台湾発の事業楽団。伝統音楽文化の保存と推進に尽力、一方、積極的に西洋楽器との協奏を行い、作品の公開募集など、特に台湾の風土民情を描く創作曲、伝統的な躍動感で多くの聴衆を魅了しています。

- 日時 平成19年10月21日(日)14:30開演(開場14:00)
- 会場 山梨県民文化ホール Tel. 055-220-6488
- 入場料 S席4,000円 A席3,000円(当日券500円増)
- 主催 日・台友好協会
- 共催 寒雲プロジェクト・台湾 高雄市国楽団
- 後援 山梨台湾総会他

問合せ/チケット取り扱い  
 日・台友好協会 Tel: 0556-22-4488

## 国際交流センターをご利用下さい

国際交流センター会議室の貸し出しを行っています。

会議室使用料

	午前	午後	夜	全日	超過料金
	9:00a.m. } 12:00a.m.	1:00p.m. } 5:00p.m.	6:00p.m. } 9:00p.m.	9:00a.m. } 9:00p.m.	1時間 Per hour
大会議室 Large Conference Room	2,200円	3,310円	3,310円	8,830円	730円
小会議室 Meeting Room	720円	1,100円	1,100円	2,910円	240円

## 会員登録をありがとうございました！

### 個人会員 (入会順・敬称略)

- 7月 五味 桜 中島 勇作 横森 美保 野澤 長雄 岩瀬 優子 石川 裕子  
 西村志津子 手塚 綾 池谷佐知子
- 8月 古屋 和恵 長田 幸子 河野 邦子 齋藤美奈子 白倉ちはる 朴 宣映  
 寺澤みどり 名取 恵美 寺田 陽子 中込 明恵 宮田 雅子  
 向山 静子 小野 喜良 望月 香織 萩原 佳子 小林 晶子  
 田中 光春 三井しのぶ 小泉万紀子 Maejima Leonida 筑山 雅子  
 多和田真人 遠藤 明美 加賀美理恵 中村小枝子 芳賀 栄彦  
 渡辺 久恭 神田 康弘 的場 由佳 濱中 明子

### 団体会員 (入会順・敬称略)

- 7月 山梨県市町村教育委員会連合会事務局
- 8月 山梨県日本中国友好協会 YICS

# YIA Event Calendar

## 「外国人なんでも相談」

と き 毎週水曜日 午後6時30分～9時  
ところ 県国際交流センター  
相談員 林ジョニーさん  
言語 インドネシア語、ポルトガル語、スペイン語、  
英語、日本語  
費用 無料  
※毎月第一水曜日は、林相談員のほか法律の専門家が相談に応じます。

## 10月

### 国際サロン「ハロウィーン」

「ハロウィーン」の季節がまたやってきました！  
大絶叫のお化け屋敷が、皆さんのお越しをお待ちしています。恒例の「コスチューム・コンテスト」、「トリック・アンド・トリート」、「ハロウィーンゲーム」等で家族や友だちと楽しい時間を過ごしましょう。おばけをびっくりさせるように、仮装をして遊びに来て下さい！

と き 10月28日(日) 午後1時～4時30分  
ところ 県国際交流センター  
定員 100人(小学生以下/要予約)  
申込み方法 Fax/Eメールで氏名、電話番号を記入し、国際交流協会へお送り下さい。電話でも受け付けています。

## 11月

### 県民の日記念事業「国際フェスタ2007」 -オスマン・サンコンバンドがやってくる！-

県内で活躍している在住外国人の皆さんと一緒に、さまざまな国の食文化(中国、韓国、バングラデシュ、ブラジル、タイ料理)、音楽、パフォーマンス等をお届けします。また、JICA、県内国際交流・協力団体等のブースを設け、活動等も紹介します。

※詳細はチラシをご覧ください。  
と き 11月10日(土)、11日(日)  
午前10時30分～午後3時  
ところ 小瀬スポーツ公園 第一駐車場南側

### 「医療通訳ボランティア研修会～外国人医療の現状～」

医療機関で受診する際に言語サポートをする医療通訳ボランティア人材の育成のため、求められる知識や心構えを学ぶ研修会を開催します。

と き 平成19年11月25日(土)  
午後1時半～午後5時  
ところ 国際交流センター  
主催 山梨県、(財)山梨県国際交流協会

## Outubro

### Festa de Halloween

A maior e mais tradicional festa de Halloween de Yamanashi. Vistam as crianças com fantasias criativas e participem do concurso de fantasia e se divirtam com as muitas brincadeiras preparadas pelo grupo de professores vindos dos países que festejam o Halloween com grande entusiasmo.

Data: Domingo, 28 de outubro de 2007  
Horário: Das 13h s 16h30.  
Local: Yamanashi International Center.  
Entrada: 500 ienes.  
Reservas com antecedência pelo telefone 055-228-4519.

## Novembroza

### International Festa 2007

Éo aniversário de Yamanashi que será celebrado no Parque Desportivo de Kose em Kofu. O Grupo Dilema e as danças das crianças do Colégio Pitágoras de Yamanashi estarão no palco da YIA representando o Brasil! Muitas atrações artísticas internacionais e a presença da gastronomia internacional.

Data: Sábado e domingo, dias 10 e 11 de novembro de 2007.  
Local: Parque Desportivo de Kose em Kofu.  
Veja detalhes no pôster oficial ou acessem o site [www.yia.or.jp](http://www.yia.or.jp).

## October

### "Halloween"

Come to the scariest Halloween party in Kofu! There will be a host of Halloween games to play and the terrifying Haunted House. Plus, we are having a costume contest with prizes. So DRESSED UP and come along with your friends!

Time: Sunday, October 28th 13:00 - 16:30  
Location: Yamanashi International Centre  
Entrance Fee: 500 Yen  
Limited to: 100 children (Elementary school age and below)  
\*Reservation required

## November

### "International Festa 2007"

Come and celebrate the Yamanashi Prefectural Day with the local residents. The "World Gourmet Corner" completed by the local foreigners is sure to please your palate. Various performances and music concerts will give you a feast of sounds. Further, JICA (Japan International Cooperation Agency) and several international cooperation groups within the prefecture will display their activities and achievements to the public.

Time: Saturday and Sunday, November 10th and 11th. 10:30 ~ 15:00  
Location: Kose Sports Park  
\* Please refer to page 5 for more details.



## 編集後記

焼けつような暑い夏も終わり、天高く馬肥ゆる秋は新しいことをはじめのよい季節。国際交流センターで語学を習うのもいいし、趣味を広げていくのもよし。秋の夜長にゆっくり、のんびり読書を楽しむのも素敵なおもてなしですね。そう、秋の味覚や紅葉を求めて、旅に出るのもオツなもの。国際交流協会の秋は、イベントがいっぱい。一に体力、二に体力、この秋は、筋力アップを図って体脂肪率15%!といきたいところです。

雨宮

Caros Leitores,

Durante uma semana o Brasil foi destaque em toda a imprensa japonesa em que as lentes se voltaram para a Semana do Brasil em Yamanashi. Só tenho palavras de agradecimento profundo a todos aqueles que participaram direta ou indiretamente na realização deste grande evento de confraternização. A alegria e a energia positiva de todos os presentes me deram forças para enfrentar um acidente de percurso do qual espero sair pronta e preparada para o próximo desafio. Aguardo todos vocês na próxima roda de capoeira, de samba ou de amigos. Um forte abraço.  
Érica

Before I know, the 2007 Rugby World Cup had already started. Even though I can't watch the live game on my TV, I try to check the score online whenever I can. Even though my fellow French CIR said that they gonna beat us this time, but I believe the All Blacks will be the one to take the trophy home. (with no doubt!!!). It's funny that I was never a rugby fan until I met a 75 years old sports enthusiast. We worked at the same theatre in Wellington. She would stay up for all sorts kind of sports games, and I never seen anyone as passionate about rugby as her. She is like a friend, a family and someone I could talk to when I am in doubt. She is turning 80 this year and I am gonna be there for her, like she has done for me!  
Yi-Mei

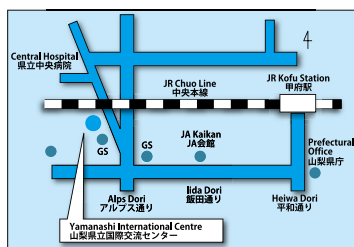
## Yamanashi 2007年10月・11月号

- 発行 財団法人山梨県国際交流協会
- 編集 雨宮由里恵 田中エリカ イーメイ・リー
- Published by Yamanashi International Association
- Edited by Yurie Amemiya Érica Tanaka Yi-Mei Lee

The International centre is open daily from 9:00am to 9:00pm except on Mondays and on the day following a national holiday.

URL [www.yia.or.jp](http://www.yia.or.jp)

MAIL [webmaster@yia.or.jp](mailto:webmaster@yia.or.jp)



〒400-0035 甲府市飯田2-2-3  
tel 055-228-5419 fax 055-228-5473  
2-2-3 Iida, Kofu-Shi, Yamanashi-ken,  
Japan 400-0035